

「今でしょ！」

林修さん来る！

平成までは3つ（全国植樹祭・国民体育大会・全国豊かな海づくり大会）だった天皇・皇后両陛下の行幸啓。令和となり、浩宮時代の皇太子殿下が第1回から務められてきた「国民文化祭」が加えられることに。初の行幸啓となることから大きく注目されそうな今年の祭典は、幸運にも新潟県が会場となり、9月15日（日）～11月30日（土）に開催されます。JR東日本の観光施策「新潟県・庄内エリアデステイネーションキャンペーン（日本海美食旅）」もこの秋が本番。交流人口の拡大を大いに期待したい。

国民文化祭は、県内を7つのエリアに区分し、それぞれの特色を生かした事業が展開されます。南魚沼市は、湯沢・魚沼エリア（5市町）として「雪国文化博覧会」と銘打ち、厳しい雪国の暮らしの中から生まれた知恵や工夫、食や産業、歴史など豪雪地特有の文化を発信します。越後上布などの特別展や坂戸城跡の石垣復元整備の完成と、偶然に重なっ

た直江兼続公の没後400年を記念した特別展示や講演会を予定しています。話題になりそうなのは、講演会「雪に魅せられた男たち（仮）」です。林修さんを特別講師に迎え、雪の価値の再認識、北越雪譜の世界観、雪国の可能性を探ります。（エリア内で開催、会場は未定）テレビ番組の制作・放送も企画されています。林さんの大学時代の師が雪についての造詣が深かった影響から愛読書は「北越雪譜」なのだとか。

国民文化祭の開始直前、8月5日（月）と9月9日（月）には、JR東日本の豪華寝台列車「TRAIN SUITE四季島」が六日町駅に停車することが発表されました。乗客には市内で朝食が提供されるとか。魚沼の食文化を楽しんでいただき、来年以降の定期停車化を心から望みたい。毎年秋に開催され「共生社会に向けた新時代の祭典」として話題となっている、市立総合支援学校の文化祭「MSGフェスタ」も一翼に。すべてが市内観光と連携するよう市の観光協会と知恵を絞っています。この秋はまさに好機。やるなら、「今でしょ！」

シリーズ
第74回

国際大学留学生 お国自慢コーナー ～boast of my country～

サントメ・プリンシペ民主共和国

ウルデマー ダ グルズ フランコ ファームハウス さん



私の国はこんなところ

サントメ・プリンシペは、ギニア湾に浮かぶ火山島のサントメ島とプリンシペ島をメインに、その周辺の小島からなる島嶼国で、赤道直下に位置します。

熱帯海洋性気候で、季節は半年が晴天、半年が晴れや雨といったところ。公用語はポルトガル語です。伝統料理はカルルと呼ばれる白身魚とオクラの煮物です。島国なので魚をよく食べます。

プリンシペ島は特徴ある生物が多様に生息し、生物圏保護区になっています。サントメ島にも美しい熱帯の野生生物がいます。北から南は、ビーチがあり、5種類のウミガメが生息しています。



サントメ・プリンシペ民主共和国

公用語	ポルトガル語
首都	サントメ
面積	964km ² (171位)
人口	約200,000人
GDP(PPP)	3億ドル (180位)
通貨	ドブラ (STN)

※ GDPは国内総生産のことで、購買力平価説 (PPP) により算出した数値です

南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼での一番の思い出は、浦佐毘沙門堂裸押合大祭に参加できたことです。御堂の中で押し合ってもまれながらも、毘沙門天を参拝することができました。友人と一緒に屋台の食べ物も楽しみました。